

【通 信】

総 会 報 告

日 時：2018 年 6 月 17 日（日） 15:30～16:30

会 場：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 W309 号室

1. 議題

(1) 2017 年度事業報告および決算報告

2017 年度事業報告

- ① 研究会・総会の開催（詳細は会誌 14 号【通信】欄参照）

第 1 回研究会・総会

2017 年 6 月 18 日（日）13:30～16:00 場所：北海学園大学

研究発表 3 件

総会：2017 年度事業報告・決算報告 2018 年度事業計画・予算案など

第 2 回研究会 主催：北海道民族学会 共催：釧路市立博物館

2017 年 10 月 14 日（土）13:30～17:00 場所：釧路市立博物館 講堂

特別講演「釧路のチャシ」

石川 朗 氏（釧路市埋蔵文化財調査センター・埋蔵文化財主幹）

研究発表 4 件

2017 年 10 月 15 日（日）9:00～11:00

エクスカーシオン 博物館～チャラケンケチャシ跡、モシリヤチャシ跡

- ② 『北海道民族学』第 14 号の刊行（2018 年 3 月刊行、145 ページ）

論文 5、研究ノート 2、書評・紹介 3

- ③ シンポジウム等後援・共催

・第 32 回北方民族文化シンポジウム（本会后援）

2017 年 10 月 7 日（土）・8 日（日）場所：オホーツク・文化交流センター

- ④ 新規入会 7 名

2017 年度決算報告

収 支 報 告

収入の部	予算①	実績②	差額②-①	備考
前年度繰越金	592,605	592,605	0	
会費収入				
当該年度会費	240,000	159,000	△ 81,000	53 人
過年度未収金	60,000	12,000	△ 48,000	4 件
先払い分	0	78,000	78,000	26 件
小 計	300,000	249,000	△ 51,000	
会誌販売収入	10,000	17,400	7,400	
雑収入	0	3	3	銀行利息
合 計	902,605	A 859,008	△ 43,597	

支出の部	予算③	実績④	差額③-④	備考
2017 年度会誌印刷費	150,000	0	150,000	会誌印刷費の支払いが 5 月になったため
通信費	30,000	31,655	△ 1,655	
文具・消耗品費	13,000	2,820	10,180	
アルバイト謝金	60,000	23,000	37,000	
講師謝金	25,000	10,000	15,000	
ホームページ管理費	40,000	40,000	0	
役員旅費補助費	30,000	45,000	△ 15,000	第 1・2 回研究会
会場運営費	20,000	0	20,000	
予備費	30,000	2,370	27,630	
合 計	398,000	B 154,845	△ 243,155	

(単位：円)

A－B＝704,163 円（次年度繰越金）

2017 年度決算書案にかかる監査の結果、適正に執行されていることを確認しました。

2018 年 6 月 11 日

監査委員 佐々木 亨

2018 年 6 月 11 日

監査委員 石井 智美

(2) 2018 年度事業計画および予算案

2018 年度事業計画

1. 総会の開催（第 1 回研究会と同日開催）
2. 研究会の開催（2 回：6 月、11 月）
 - 第 1 回：本日（2017 年 6 月 18 日）
 - 第 2 回：11 月 24 日に北海道博物館（〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌 53-2）で
開催予定
3. 『北海道民族学』第 15 号の刊行

2018 年度予算

予 算 案

収入の部	前年度実績	予算	備考
前年度繰越金	592,605	704,163	
会費収入			
当該年度会費	159,000	240,000	3000 円×80 人
過年度未収金	12,000	9,000	3000 円×3 人
先払い分	78,000	0	
小 計	249,000	249,000	
会誌販売収入	17,400	10,000	
雑収入	3	0	銀行利息
合 計	859,008	963,163	

支出の部	前年度実績	予算	備考
会誌印刷費	0	300,000	2017 年度+2018 年度分
通信費	31,655	30,000	
文具・消耗品費	2,820	10,000	
アルバイト謝金	23,000	60,000	会誌発送・編集、研究会受付等
講師謝金	10,000	25,000	共催イベント等
ホームページ管理費	40,000	40,000	広報活動強化
役員旅費補助費	45,000	30,000	運営委員会活性化
会場運営費	0	20,000	研究会会場費等
予備費	2,370	30,000	学会賞等
次年度繰越	704,163	449,163	
合計	859,008	994,163	

（単位：円）

(3) 総会議事

1. 2017 年度決算および事業報告、ならびに 2018 年度予算案について、事務局及び会計からの報告があり、原案通りに了承された（詳細は上記(1)(2)）。
2. 2017 年度学会賞は該当者がいないことが報告された。
3. 本年度第 2 回研究会は、11 月 24 日、北海道博物館にて開催する。
4. 学会誌の投稿・編集スケジュールについて、これまでより 1 ヶ月前倒しし、10 月末日エントリー締切、11 月末日原稿締切としたいとの提案があり、了承された。
5. 北海道民族学会の新しいホームページ (<http://hes.official.jp/index.php>) の紹介があった。

2018 年度研究会（発表要旨は本号に掲載）

第 1 回研究会プログラム

日 時：2018 年 6 月 17 日（日） 13：30～16：00

会 場：北海道大学人文 社会科学総合教育研究棟 W309 号室

【研究発表】

1. 孫 嘉寧（関西学院大学大学院社会学研究科）
「桃太郎昔話の地域的展開と伝承の語り直し ―岡山吉備津を中心に―」
2. 佐崎 愛（東北大学大学院文学研究科）
「日本ハリストス正教会の死者をめぐる実践 ―中新田地区における「木製十字架」を事例として―」
3. インガ・ボレイコ（北海道大学大学院文学研究科）
「集合的記憶に関する文化人類学的研究 ―二風谷におけるニール・G・マンローをめぐる記憶の事例を通して―」
4. 福島 令佳（北海道大学大学院文学研究科）
「就労継続支援の現場におけるケアの実践に関する福祉人類学的研究 ―農福連携自然栽培パーティの取り組み事例―」

第 2 回研究会プログラム

日 時：2018 年 11 月 24 日（土） 13：10～16：30

11：15～12：05（博物館見学）

会 場：北海道博物館 講堂

【特別講演】 「サハリンのニヴフはなぜベリー類を多用するのか？

―植物相・植生から見た自然資源の利用―

講師：水島 未記（北海道博物館自然研究グループ・学芸主幹）

〈講演要旨〉一般に植物は哺乳類や魚類などと比べて種数が圧倒的に多く、地域による種構成の違いも大きくなる。そのため、植物資源利用に関わる文化を構成する諸要素は、動物資源と比較して地域や環境の違いによる影響をより大きく受けることが予想できる。講師はサハリンの北部

に通ってニヴフ民族の植物利用文化について調査し、90 種以上の植物の利用を確認した。北海道と似ているようで全く異なるサハリン北部で、ニヴフがどんな植物をどう利用してきたか、その特徴や、それがこの地域の自然環境のどのような要素からどのような影響を受けているのか、などについて報告する。

【研究発表】

1. 包 海岩（内蒙古科技大学）
「畜糞文化の商品開発に関する報告 ―内モンゴル自治区の事例を中心に―」
2. 佐々木 理子（北海学園大学法学部）・蟬塚 咲衣（北海学園大学人文学部）・稲垣 森太（奥尻町・学芸員）・手塚 薫（北海学園大学人文学部）
「『記憶地図』による情報の可視化」
3. 田中 佑実（北海道大学大学院文学研究科）
「フィンランドのカルシッコに見る『風習／伝統』の変遷」
4. 山本 晶絵（北海道立北方民族博物館）
「近世蝦夷地におけるアイヌとシマフクロウの関係 ―『三国通覧図説』にみる「鷲嶋鴉ノ類ヲ養テ箭羽ヲ取也」の再検討を通して―」

北海道民族学会 学会賞規定

1. 北海道民族学会は、民族学、及びその関連分野で顕著な功績のあった者に対し、各年度に学会賞の募集・選定・授与をおこなう。
2. 学会賞は、北海道民族学会による若手研究者の育成と学術活動の促進・発展を目的とする。
3. 学会賞には、北海道民族学会特別賞（特別賞）と北海道民族学会奨励賞（奨励賞）を定める。
4. 学会賞候補者は、会員からの推薦（自推を含む）によって受け付け、運営委員会により受賞者を決定する。募集や選考の詳細については別に定める。
5. 学会賞（特別賞及び奨励賞）に選考された者には、賞状ならびに記念品を授与する。
6. 特別賞と奨励賞の対象は以下の通りとする。

(1) 特別賞

- a. 候補者は、本会会員とし、年齢は問わない。
- b. 候補者は、民族学及びその関連分野で、学術あるいは事業活動等において顕著な功績があり、現在も研究・教育・普及活動等を行っている者とする。

(2) 奨励賞

- a. 候補者は、本会会員とし、応募時点での年齢が満 40 歳未満であること。
- b. 候補者は、原則として前年度に学術雑誌等に発表した論文・資料等、またフィールドワークを含む研究活動等により、民族学及び、その関連分野において学術上の顕著な業績を上げ、将来が期待される者とする。審査に際しては、『北海道民族学』に掲載された論文・研究ノートを優先的な評価対象とする。

7. この規定は 2012 年度から適用する。

2018 年度新入会員

呉 松旆（関西学院大学大学院社会学研究科／大学院生）
 阪口 諒（千葉大学大学院人文公共学府／大学院生）
 佐々木 理子（北海学園大学／大学生）
 下坂 彩（名寄市立大学）
 蟬塚 咲衣（北海学園大学／大学生）
 田中 佑実（北海道大学大学院文学研究科/大学院生）
 包 海岩（内蒙古科技大学）
 福島 令佳（北海道大学大学院文学研究科／大学院生）
 ボレイコ インガ（北海道大学大学院文学研究科／大学院生）
 馬 長城（北海道大学大学院文学研究科／大学院生）
 山中 珠美（名寄市立大学）

北海道民族学会役員（2017 年 6 月改選）

会 長	平田 昌弘	（帯広畜産大学）
運営委員	中田 篤	（道立北方民族博物館、事務局担当）
	手塚 薫	（北海学園大学）
	甲地 利恵	（北海道博物館）
	田村 将人	（文化庁）
	出利葉 浩司	
	野手 修	（藤女子大学）
	野口 明広	
	中村 和之	（函館工業高等専門学校）
	林 美枝子	（日本医療大学）
	山田 敦士	（日本医療大学）
	小田 博志	（北海道大学）
監 事	石井 智美	（酪農学園大学）
	佐々木 亨	（北海道大学）
顧 問	岡田 淳子	
	岩崎 まさみ	
	津曲 敏郎	（道立北方民族博物館）

北海道民族学会事務局

093-0042 北海道網走市字潮見 309-1

北海道立北方民族博物館 気付

中田 篤

Tel : 0152-45-3888

Fax : 0152-45-3889

dou-minzoku@mail.goo.ne.jp

<http://hes.official.jp/index.php>